

# Dyna S 同時点火(DS6 - 1) マニュアル要点

## 1. インストール

- ・ ダイナ(DS6-1)を装着する際には5のコイルを装着する必要がある。
- ・ コイルに配線する際、白の配線はコイルの(+)側(12Vが接続される側)に接続する。
- ・ 青の配線は(-)側(もともとカムカバーから配線されている側)に接続する。
- ・ 上記配線を逆に接続しスイッチを入れると本体が損傷するので、**嚴重注意!**

## 2. トラブルシューティング

### 2.1 点検

- ・ ローターとピックアップの接触・磨耗、配線との接触・磨耗がないか点検する。
- ・ アドバンスユニットの磨耗・損傷・干渉を点検する。  
進角位置まで動かし、手を離れたときに素早くもとの位置に戻るか確認する。  
冷間時・温間時ともに作動確認すること。
- ・ 配線の噛み込み・焼け、端子の腐食・脱落・割れが無い点検する。
- ・ それぞれのプラグコードにテスターを接続したあと、緩やかにねじり・引張りを加え、抵抗値の変化、導通の異常が無い点検する。  
清浄できないほどに汚れているものについては交換する。

### 2.2 電圧のチェック

- ・ 測定前に、必ずテスターの0 調整を行うこと。
- ・ 測定の際、通電状態(S/W オン)のまま3分以上放置しない。  
通電状態が続くと、抵抗の発熱により、コイル、本体が損傷する。
- ・ イグニションコイル、一次コイルが正常か点検する。  
一次コイルの抵抗を測定するには、コイルのターミナル間の抵抗を測定すればよい。  
測定には、精度の高いテスターで、低めの測定レンジで測定する。  
通常、一次コイル間の抵抗値は3以上を示すはずである。  
コイルが割れているもの、一次コイルがショートしているものは要交換。
- ・ センサーローターをピックアップから離れた状態(点火しない状態)にする。  
イグニションをONにし、コイルの(+)側端子とアース間の電圧を測定する。  
この際、バッテリー電圧より1V前後電圧が低いのは、配線間の抵抗によるものである。  
極端に電圧が低い場合、バッテリーからコイルまでのスイッチ・コネクタ・端子・ブレーカーなどの極端な電圧降下が無い点検する。
- ・ コイルの(-)端子とアース間の電圧を測定する。

その際、電圧は 0.8V ~ 1.4V の間を示すはずである。

- センサーローターをピックアップポイントまで回転させる。  
端子間の電圧がほぼバッテリーの電圧と同じになるはずである。  
これはモジュールの S/W が断続して切り替わっていることを示し、  
本体におおむね問題はない。
- 電圧が低いままの場合、センサーローターとピックアップのギャップをチェックする。  
ギャップの範囲は 0.025inc. ~ 0.040inc.(0.635mm ~ 1.016mm) の間で、0.040inc. を超えた場合、センサーの S/W が機能しなくなる。  
ギャップが正常で電圧が低い場合、出力側のショートが考えられる。
- 電圧が常に高いままの場合、マウンティングプレートが確実にアースしているか確認する。  
アースに問題が無ければ、モジュールの不良が考えられる。

### 2.3 抵抗値のチェック

- 本体を車体から外す。  
テスターの (-) 側をマウンティングプレートに接続する。  
テスター (+) 側をコイル (-) 配線 (本体青配線) に接続し、抵抗を測定する。  
通常、全てのレンジで導通は無いはずだが、損傷がある場合はテスターが反応する。  
なお、測定はバッテリーに接続した状態、また、上記 2 点間以外で行うことは出来ない。

### 2.4 イグニションコイルのチェック

- イグニションコイルから配線を外し、コイル単体にする。
- 一次コイルの抵抗値を測定する (2.2 電圧のチェック参照)。
- 二次コイルの抵抗値を測定する。  
二次コイルの抵抗値を測定するには、プラグコード差込口間の抵抗値を測定すればよい。  
シングルコイルの場合、プラグコード差込口と 2 個あるターミナルの一方を測定する。
- 損傷しているコイルの典型的症状として、各部の抵抗値・導通の異常が現れる。

### 3. リペアサービス

- Dyna S はユーザーレベルでの修理は不可能で、修理の際には USA 本社へ返送する形となる。むやみにモジュールを分解したり配線を切ったりすると、修理費の負担が大きくなるだけでなく、保証対象外 となってしまう。

不良品と思われる場合、返品・交換の問い合わせの際には、分解等はしないこと。

〒262-0013 千葉県千葉市花見川区横橋町 2065-1

TEL (043) 441-8082 FAX (043) 441-8061

株式会社ネオファクトリー

この文章は株式会社ネオファクトリーが制作、編集したものであり、無断での転載・配布を禁ずる。